

《著者紹介》

坂田謙司（さかた・けんじ）

1959年 東京都生まれ。

中京大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。

現在 立命館大学産業社会学部教授（メディア社会史、音声メディア論）。

著作 『「声」の有線メディア史——共同聴取から有線放送電話を巡る〈メディアの生涯〉』世界思想社、2005年。

「放送の多様性から見る営利／非営利問題」松浦さと子・小山帥人編著『非営利放送とは何か——市民が創るメディア』ミネルヴァ書房、2008年。

「北海道の地方博覧会——中央と地方の眼差しの交差」福間良明・難波功士・谷本奈穂編著『博覧の世紀——消費／ナショナリティ／メディア』梓出版社、2009年。

「プラモデルと戦争の「知」」高井昌吏編『「反戦」と「好戦」のポピュラー・カルチャー』人文書院、2011年。

「街頭放送の社会史——北海道の街頭放送と社会の関係」『立命館産業社会論集』2017年3月。

「地域の人びとの欲求がメディアを作る」『地域づくり』2019年12月、ほか。